

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2019001

プロジェクト名 「野球」の力をインドネシアへ！

プロジェクトの概要

インドネシアに野球を広めることで国際交流を深めることを目的とする。私たちは野球が盛んではないインドネシアに普及させていき、私たちが続けてきた4年間の活動の集大成として、海外に足跡を残していきたいと考える。インドネシアでは、野球という文化はあるが、日本の野球と比べると盛んではない。そこで、現地の小学校から大学生までを中心に、野球の魅力と楽しさを伝え、一人でも多くの子供へ野球に興味、関心を持ってもらい国際交流を行いたい。

プロジェクトの結果・成果

私達日本大学準硬式野球部は2月10日から1週間の日程で渡航し、上記の目的を果たすべく準備を進めてきた。準備に当たっては、数年前から本取組を行っていることもあり、現地との調整も順調に進み、①サヌールウィサタ中学校での野球教室、②サヌール地区公共広場でのベースボール突撃野球キャラバン、③タバナン地区高校での野球教室、④タバナン地区公共広場でのベースボール突撃野球キャラバン、⑤IKIP 大学での野球教室を実施することで決定した。

プロジェクト実施にあたり、有り難いことに3日目のIKIP 大学においては、学長から是非会って話を伺いたいとの申し出をいただき、現地での野球教室後にお会いすることにした。

また、バリ州教育省・スポーツ省にも訪問したいとのアポイントを取ったところ、快諾いただき、ここ数年の取り組みに対し感謝状を準備することも検討したいとの申し出もいただいた。

そして、寄贈予定の野球用具に関してもボール、バット等を購入して持参する準備を整えた。

さらに、数年続けてきた経験から、日本では当たり前前のグローブやバットも、インドネシアでは高価で購入が難しい等の事情もあるため、ダンボールや布等を活用して用具に代えることが可能かどうかの実験を行い、その組み立て方法についても参加メンバーで共有の上、準備した。

全てにおいて万全の準備を整え、現地で実行することを待つのみであったが、新型コロナウイルス感染症の広がりにより直前で渡航中止となったため、本プロジェクトを実践するには至らなかった。現地関係者に対しては謝罪し、寄贈予定であった用具に関しては郵送した。

今回は実現に至らなかったが、本プロジェクトは、準備の段階からインドネシア国が国として歓迎してくれるなど、非常に価値の高い取組であるという実感を持つことはできた。

今後も是非継続したい。

活動写真



・事前会議